

2016. 12. 26

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

2016年 第3四半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

概 要 (2016年第3四半期)

2016年7-9月のわが国の景気は輸出及び住宅投資が堅調だったが、個人消費の停滞に加え、円高による企業業績の悪化や設備投資が伸び悩み力強さを欠いた。

このような中、化繊景況は衣料、産業資材用ともに低調で化繊生産は23.2万トン・前年比8.0%減となった。

国内

- 1) 衣料用途は、国内向けが個人消費の停滞、天候不順などでファッション衣料を中心に全般盛り上がりには欠けた。中東民族衣装向けなどのテキスタイル輸出は円高を背景に利益率が低下した。ユニフォーム・ワーキング用は在庫調整が進まず不振が続いた。ブラックフォーマルは主力の百貨店・専門店向けが低調。保温肌着は大手SPA向けが順調だったが、GMS（総合スーパー）向けは不振。インテリア用途は、カーペットがオフィス向けなどのコントラクト需要が底堅かったが車両用は苦戦、カーテンはホームユース用が低調。カーシートは自動車生産の停滞や合成皮革の浸食もありファブリックは苦戦。衛材用途は、中国向け紙おむつの製品輸出の伸び率が大幅に鈍化した。生活資材用途はコスメスキンケア商品、制汗シート向けが堅調だったが、貼布剤基布用は苦戦した。産業資材用途は、エアバッグ用が堅調に推移、タイヤコード用はポリエステル使いの織物および強力糸の高水準の輸入が続いた。建築資材用途は、4年後の東京オリンピックを控え都市再開発事業が活発化して堅調だった。
- 2) 生産指数は、繊維工業全体で前年比（以下同じ）2.8%減、化繊%6.7%減、紡績5.7%減。在庫指数（9月末）は、繊維工業全体が1.4%増、化繊1.4%増、紡績4.0%増。（2010年=100、生産、在庫とも指数ベースでの比較）
- 3) 繊維品輸出は、ドルベースで19.8億ドル・前年比（以下同じ）1.9%減、一方円ベースでは2,028.4億円・17.8%減。形態別（ドルベース）は、繊維原料2.4億ドル・43.4%減、糸類2.7億ドル・2.4%増、織物類6.0億ドル・0.7%増、二次製品他8.7億ドル・17.9%増。仕向地別（ドルベース）では、全体の29.8%を占めた中国が5.2%減の5.9億ドル、香港（5.0%増）、韓国（6.2%増）、台湾（6.1%増）、アセアン地域はベトナム（17.0%増）、タイ（18.7%増）、インドネシア（3.2%減）・マレーシア（2.2%減）となり、それ以外では西アジア（14.1%減）、欧州（6.7%減）、米州（5.0%減）であった。
- 4) 繊維品輸入は、ドルベースで106.9億ドル・前年比（以下同じ）0.8%増、一方円ベースでは1兆930.5億円・15.5%減。形態別（ドルベース）は、繊維原料1.4億ドル・6.1%減、糸類3.1億ドル・1.5%減、織物3.4億ドル・1.6%増、二次製品他99.1億ドル・1.0%増。仕出地別（ドルベース）では、全体の62.3%を占めた中国が3.0%減の66.6億ドル、韓国（0.5%減）、台湾（0.9%増）、アセアン地域は、ベトナム（14.7%増）、インド

ネシア (2.6%減)、タイ (9.1%増)、マレーシア (4.5%減)、それ以外では、イタリア (3.8%増)、米国 (4.3%減) となった。

繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2014.7-9	2015.7-9	2016.7-9	2015年比(%)	2014年比(%)
輸出	千ドル	2,223,379	2,019,257	1,979,885	-1.9	-11.0
計	百万円	230,805	246,888	202,835	-17.8	-12.1
繊維原料	千ドル	432,988	419,520	237,429	-43.4	-45.2
糸類	〃	312,039	265,386	271,849	2.4	-12.9
織物類	〃	646,491	597,717	602,042	0.7	-6.9
二次製品他	〃	831,862	736,633	868,567	17.9	4.4
輸入	千ドル	11,433,707	10,599,015	10,687,245	0.8	-6.5
計	百万円	1,190,855	1,293,941	1,093,048	-15.5	-8.2
繊維原料	千ドル	154,665	149,425	140,368	-6.1	-9.2
糸類	〃	355,854	310,875	306,274	-1.5	-13.9
織物類	〃	369,535	330,128	335,562	1.6	-9.2
二次製品他	〃	10,553,653	9,808,587	9,905,041	1.0	-6.1
(うち衣類)	〃	(9,049,818)	(8,394,378)	(8,450,938)	0.7	-6.6
輸出レート	円/ドル	103.8	122.3	102.4	-16.2	-1.3
輸入レート	円/ドル	104.2	122.1	102.3	-16.2	-1.8

(出所) 財務省

5) 化繊生産は 23 万 2,491 トン・前年比 (以下同じ) 8.0%減、うちセルロース繊維 4 万 472 トン・8.6%減、合繊 19 万 2,019 トン・7.9%減となった。期末 (9 月末) 在庫は 9 万 7,537 トン・1.2%減、うちセルロース繊維 1 万 3,761 トン・12.6%減、合繊 8 万 3,776 トン・0.9%増であった。

化繊輸出 (繊維原料～二次製品) は 13.0 万トン・前年比 (以下同じ) 21.4%減。うち、繊維原料 5.2 万トン・40.6%減、糸類 2.9 万トン・0.6%減、織物類 (面積ベース) 1.37 億㎡・7.0%減、二次製品 2.6 万トン・5.8%増となった。品種別では、レーヨン S 5.8%増、ナイロン F 2.6%増、ポリエステル F 5.7%増、ポリエステル S 20.5%減、アクリル S 20.8%減、織物類 (面積ベース) はナイロン F 織物 0.4%増、ポリエステル F 織物 5.8%減、ポリエステル S 織物 18.0%減であった。

化繊輸入 (繊維原料～二次製品) は 44.8 万トン・前年比 5.5%増。うち、繊維原料 2.3 万トン・29.4%増、糸類 5.6 万トン・0.7%増、織物類 (面積ベース) は 1.48 億㎡・1.7%減、二次製品 33.7 万トン・5.6%増、うち衣類 18.3 万トン・4.2%増となった。品種別では、レーヨン S 9.3%増、ナイロン F 6.5%減、ポリエステル F 3.9%増、ポリエステル S 45.3%増、ポリエステル紡績糸 5.5%減、織物類 (面積ベース) はポリエステル F 織物 7.4%減、ポリエステル S 織物 3.0%減であった。

化学繊維の主要指標

項目	単位	2014. 7-9	2015. 7-9	2016. 7-9	2015年比(%)	2014年比(%)
化繊生産	千トン	251.0	252.7	232.5	-8.0	-7.4
セルロース	〃	40.6	44.3	40.5	-8.6	-0.3
合 繊	〃	210.4	208.4	192.0	-7.9	-8.7
化繊在庫	〃	96.7	98.8	97.5	-1.2	0.9
セルロース	〃	16.8	15.8	13.8	-12.6	-18.0
合 繊	〃	79.9	83.0	83.8	0.9	4.8
化繊輸出	千トン	164.5	164.9	129.7	-21.4	-21.1
	100万ドル	1,413.5	1,290.1	1,180.9	-8.5	-16.5
	億円	1,467.7	1,577.1	1,209.8	-23.3	-17.6
繊維原料	千トン	83.0	86.8	51.6	-40.6	-37.9
糸 類	〃	30.8	29.0	28.9	-0.6	-6.2
織物類	百万㎡	144.1	147.4	137.0	-7.0	-4.9
二次製品	千トン	26.6	24.9	26.4	5.8	-1.0
化繊輸入	千トン	426.7	424.5	447.8	5.5	5.0
	100万ドル	5,669.9	5,312.7	5,441.7	2.4	-4.0
	億円	5,913.3	6,480.8	5,562.6	-14.2	-5.9
繊維原料	千トン	16.1	17.8	23.0	29.4	42.9
糸 類	〃	58.3	56.0	56.4	0.7	-3.2
織物類	百万㎡	156.9	151.0	148.4	-1.7	-5.4
二次製品他	千トン	319.8	319.5	337.4	5.6	5.5
(うち衣 類)	〃	(178.9)	(175.7)	(183.1)	4.2	2.4

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

6) 主要合繊品種の動向は次の通り。

<ポリエステルF>

2016年第3四半期のポリエステルフィラメントの生産は3万1,231トン・前年同期比1.5%減、9月末在庫は1万767トン・前年同月比14.3%減。

衣料用：国内向けはファッション衣料中心に全般盛り上がり欠けた。ブラックフォーマルは百貨店・専門店向けの不振が続いた。中東向け民族衣装「アバヤ」は数量を維持したが、円高で利益率が低下。遊泳用水着は天候不順で店頭販売が低調。競泳用は「オリンピックイヤー効果」を受け機能品が堅調。「ヨガ」向けのニットは国内・輸出ともに順調。裏地は一部機能品が健闘したが、流通在庫過多やクールビズの浸透で全般低調。

インテリア・産資用：カーテンは学校、ホテル向けなどのコントラクト需要は順調だったが、一般家庭用は盛り上がり欠けた。カーシート用は自動車生産の停滞や合成皮革の浸透によりファブリックの苦戦が続いた。タイヤコード用は高水準の織物・強力糸の輸入が続き、殆どが海外からの調達となった。土木関係は公共投資一巡で不振。建築関係は4年後の東京オリンピックを控えた首都圏再開発などを背景

に堅調だった。

フィラメント輸出：4,168 トン・前年比 5.7%増、フィラメント輸入：3万2,849 トン・3.9%増。

<ポリエステルS>

2016年第3四半期のポリエステルステーブルの生産は2万8,623 トン・前年同期比 18.1%減、9月末在庫は2万1,161 トン・前年同月比 9.5%減。

紡績：主力のユニフォーム・ワーキング向けは在庫調整が進まず不振が続く、中東民族衣装向け輸出も円高で利益率が低下。帆布用は備蓄完了により出荷が一巡した。

製綿：一部差別化品に動きが見られたが全般低調に推移する中、製綿業者の廃業が続く。大手寝具問屋が「450周年キャンペーン」を展開したが恩恵を受けず。

不織布：衛材用は中国向け紙おむつ・生理用品の製品輸出の伸びが鈍化した。生活資材用はコスメスキンケア商品や制汗シート向けが堅調だったが、貼布剤基布用は薬価改定や病院での支給枚数制限の影響で悪化。車両資材用は国内自動車生産の停滞が続くが、軽量化の流れで新規の吸音材が採用された。湿式不織布は中国での家庭用浄水器の需要拡大を背景にRO膜の支持体向けが好調。

原綿輸出：4,444 トン・前年比 20.5%減、原綿輸入：1万4,462 トン・45.3%の大幅増。

<ナイロンF>

2016年第3四半期のナイロンフィラメントの生産は2万4,179 トン・前年同期比 1.2%増、9月末在庫は1万3,534 トン・前年同月比 10.8%増。

衣料：パンストはインバウンドが需要を下支えした。ハイテンションニットは一時回復したが在庫手当て一巡後は鈍化。ウインター・アウトドアなど高密度織物の輸出は米国向けが減速、欧州向けおよび韓国向けは低調に推移。国内アウトドア向けはスポーツアパレル間で「勝ち負け」がはっきりして全般盛り上がり欠けた。

非衣料：ラジアルタイヤ向けのキャッププライ用は底堅く推移、バイアスタイヤ用は建機・重機向けが低調だが、中国向け農機具のタイヤ用が好調。エアバッグ用は中国の小型車減税による駆け込み需要に加え、タカタのリコール特需で増加。カーペット用はインバウンド向けホテルや大型商業施設向けに期待、車両用は自動車生産の停滞やPPの浸食で苦戦が続く。

フィラメント輸出：9,889 トン・前年比 2.6%増、フィラメント輸入 8,183 トン・6.5%減。

<アクリルS>

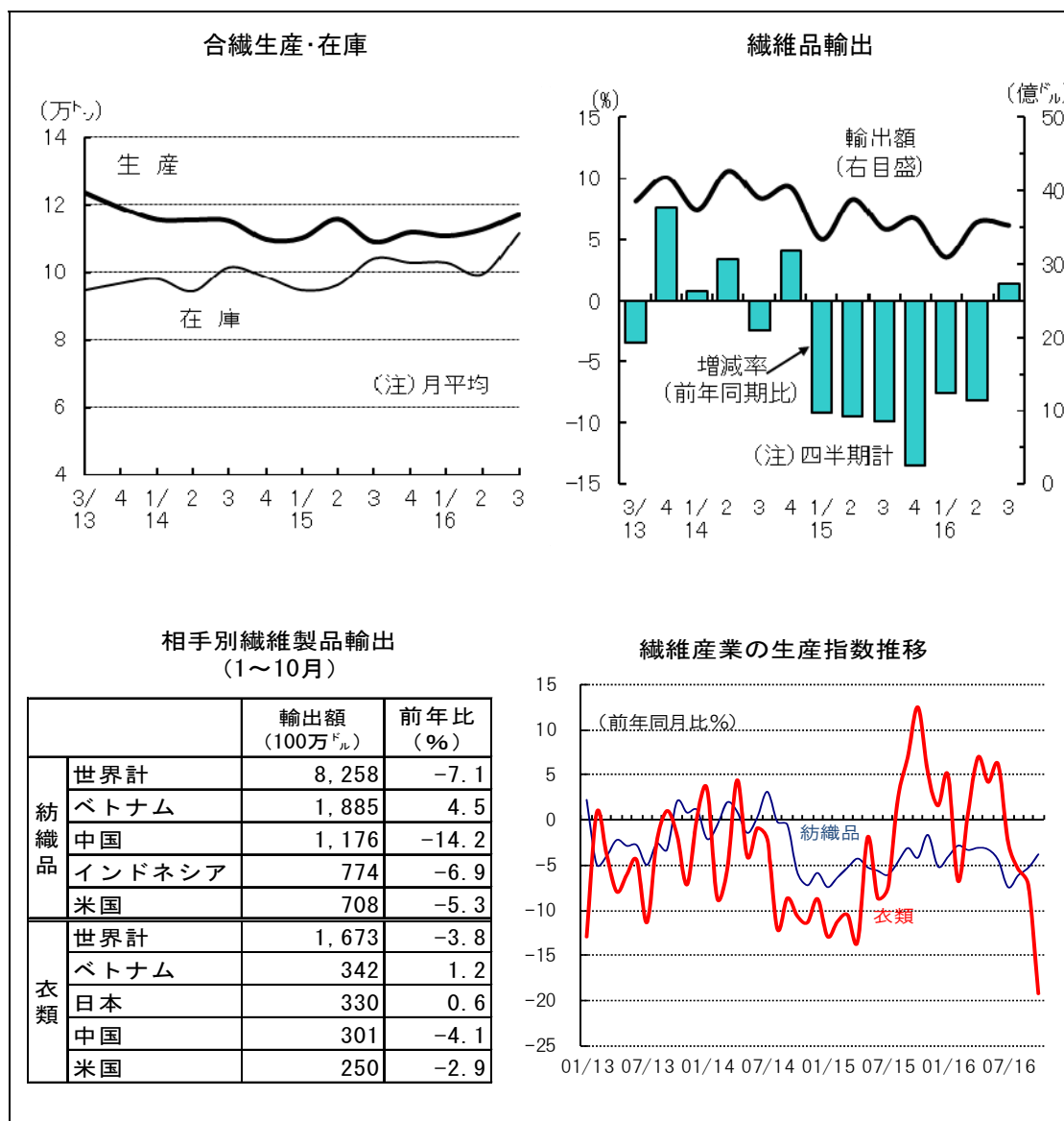
2016年第3四半期のアクリルステーブルの生産は3万3,124 トン・前年同期比 16.2%減、9月末の在庫は1万2,367 トン・前年同月比 15.4%増。

衣料用：16年シーズン向けの保温肌着用の出荷は大手SPA向けが順調だったが、GMS（総合スーパー）向けが不振。国産アクリル使いのセーターは少量だがスケール関係で動きがあった。靴下は大手SPA、大手問屋向けともに不振だった。

建寝装用：毛布は大手寝具問屋が「450周年キャンペーン」を展開したが恩恵を受けず。長繊維化が進むカーペットでは水回り品向けなどで国産品が少量残っている程度になった。

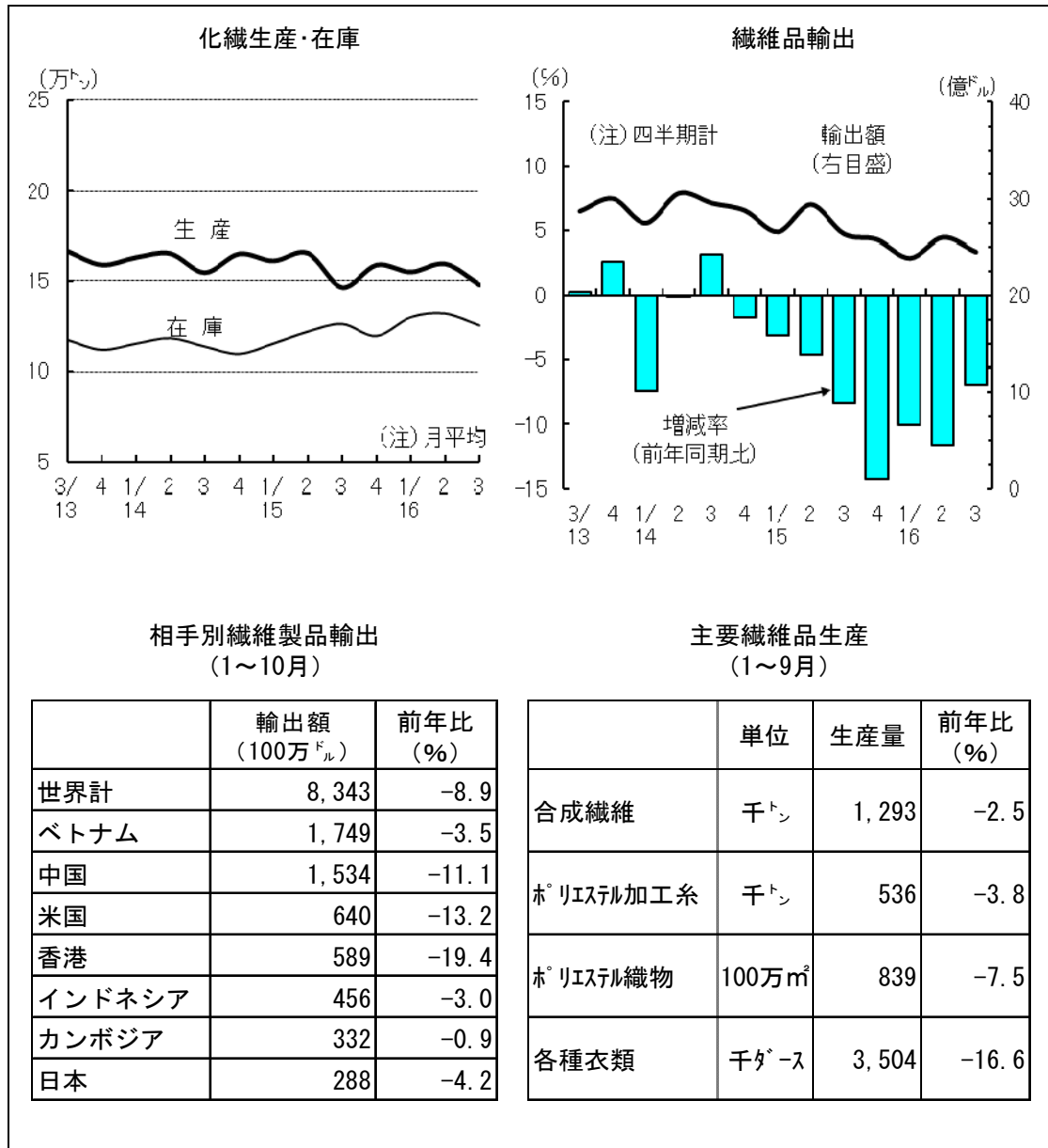
輸出：中国向けが1万387トシ・前年比51.5%の大幅減、これは中国国内でフェイクファー用の在庫が高水準で推移したことや、日本メーカー3社に対して15.8～16.1%のAD課税正式決定、円高、粗原料ANの独歩高など悪条件が重なったことによる。

1. 韓国



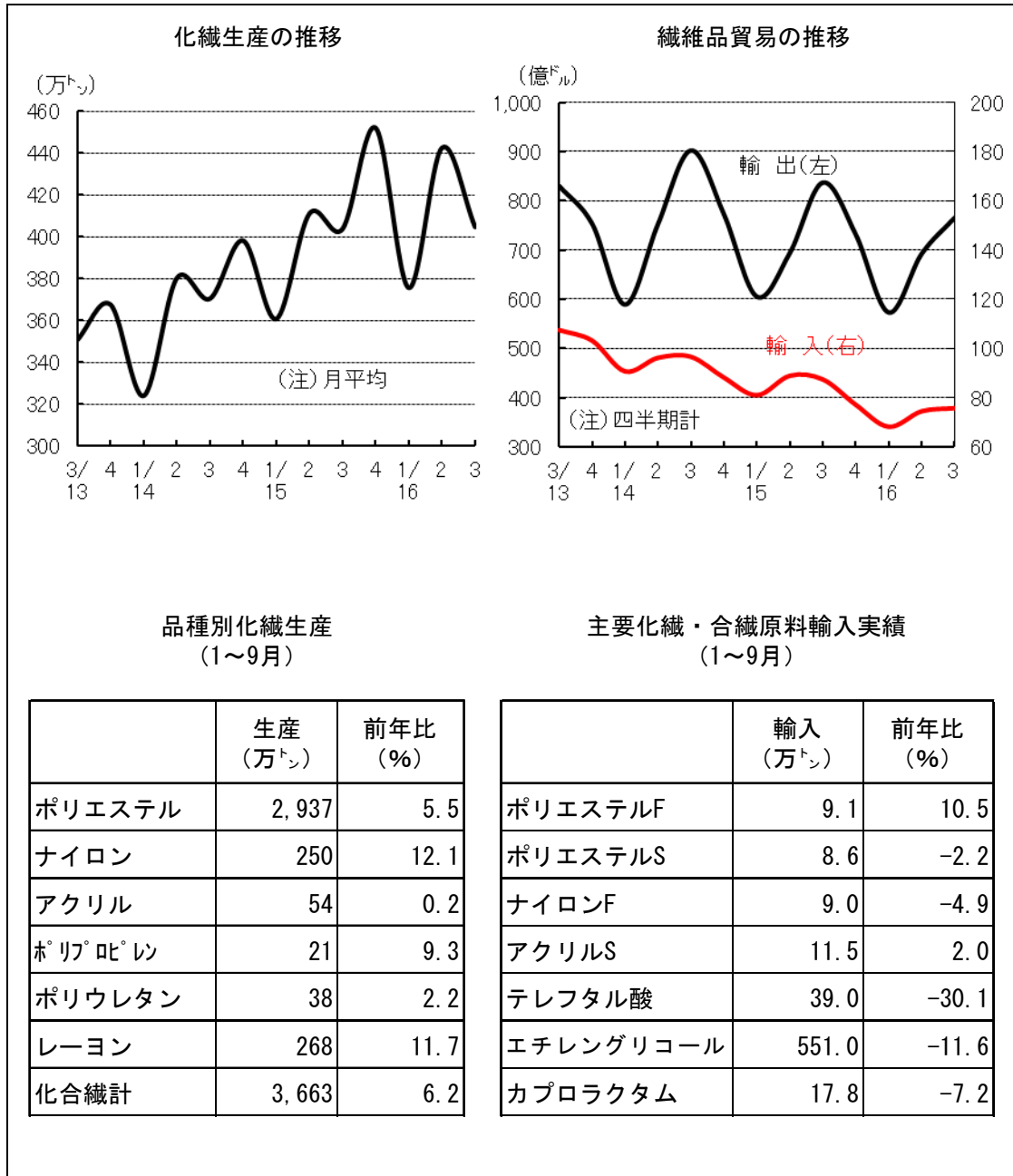
- ◆ 化繊生産は2期ぶりの増産、繊維品輸出は7期ぶりの増加と繊維業況はやや回復傾向がみられた。
- ◆ 第3四半期の合繊生産は前年同期比7.2%増の35.1万トとなった。ポリエステルFは同3.1%増、同Sは17.2%増とともに堅調な輸出から増産となった。一方、ナイロンFは8.4%減、アクリルSは11.9%減となった。
- ◆ 第3四半期の繊維品輸出は1.4%増の35.2億ドルとなった。1~10月の繊維製品輸出を相手別にみると、紡織品、衣類とも最大の相手先がベトナムでそれぞれ4.5%増、1.2%増となった。紡織品輸出は、中国向けは14.2%減と2桁減となった。
- ◆ 直近(2016年10月)の繊維品の生産指数をみると、紡織産業(-3.8%)、衣類産業(-19.2%)とも下落している。

2. 台 湾



- ◆化繊生産は5期ぶりの増産となったが、繊維品輸出は8期連続の減少となった。
- ◆第3四半期の化繊生産は前年同期比1.0%増の44.3万トとなった。ポリエステルFは4.5%減となったが、ナイロンFは1.6%増、ポリエステルSは11.3%増、アクリルSは10.2%増となった。
- ◆第3四半期の繊維品輸出は前年同期比6.9%減の24.5億ドルとなった。1～10月の繊維品輸出を相手別にみると、上位市場は軒並み前年実績割れ。ベトナム向けは3.5%減、中国向けは11.1%減、米国向けは13.2%減、香港向けは19.4%減といずれも2桁減となった。
- ◆1～9月の主要繊維品の生産は、ポリエステル加工糸は3.8%減、ポリエステル織物は7.5%減、衣類は16.6%減といずれも減少となった。

3. 中 国



- ◆ 化繊生産は増産が続く一方で、繊維品輸出は減少が続いている。
- ◆ 第3四半期の化繊生産は前年同期比9.3%増の1,214万トとなった。2016年1~9月の化繊生産を品種別にみると、主力のポリエステルは5.5%増の2,937万トと、これまでの伸びからは鈍化がみられる。ナイロンは12.1%増の250万ト、アクリルは同0.2%増の54万トとなった。なお、同期間の紡績糸生産、織物生産は6.2%増、1.8%増となった。
- ◆ 第3四半期の繊維品輸出は前年同期比8.6%減の766億ドル、4期連続の減少となった。一方、輸入は同13.4%減の76億ドルとなった。

- ◆1～9月の合繊原料輸入は、テレフタル酸、エチレングリコール、カプロラクタムとも減少となった。

相手別繊維製品輸出 (1～9月)			繊維業界の主要指標 (1～10月)			
	輸出額 (億ドル)	前年比 (%)		単位	指標	前年比 (%)
世界計	2,223	-5.4	企業数	万社	3.8	-
アジア計	996	-2.2	赤字企業数	万社	0.5	8.6
日本	170	-5.8	主要業務収入	億元	58,027	4.3
香港	124	11.5	うち化繊産業	億元	6,148	2.6
アセアン	274	-4.5	利潤総額	億元	2,948	4.4
ベトナム	100	-13.3	うち化繊産業	億元	247	7.8
EU	413	-6.1	繊維産業実際投資	億元	9,546	0.0
米国	378	-6.2	うち化繊産業	億元	919	-0.8

社会小売財消費総額 (1～10月)				繊維関連物消費者物価指数 (1～10月)	
	単位	数値	前年比 (%)		前年同期比 (%)
商品売上総額	億元	269,601	10.3	消費者価格指数・全製品	102.0
うち繊維品等	億元	11,310	7.2	消費者価格指数・衣類等	101.5

- ◆1～9月の相手別の繊維製品輸出は、全体で前年同期比 5.4%減となった。アジア向けは 2.2%減、そのうち、日本向けは同 5.8%減と続落、これまで好調であったベトナム向けも 13.3%減となった。欧米向けは、EU 向けは同 6.1%減、米国向けは同 6.2%減とともに減少した。
- ◆1～10月の繊維産業の主要指標は、主要業務収入は前年同期比 4.3%増、利潤総額は 4.4%増と引続き堅調であった。繊維産業の投資は前年比横ばいにとどまった。供給過剰のみられる化繊産業は 0.8%減となった。
- ◆1～10月の衣料用内需は前年同期比 7.2%増と引続き堅調に推移した。衣類等の消費者物価指数は前年同期比 1.5%上昇した。

合織4品種需要実績(2016年7～9月)

I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2016年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	22,829	96.5	97.4
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	38,325	100.7	101.2
	計 (輸入)	61,154 (32,849)	99.1 (99.2)	99.8 (103.9)
輸出 (原糸、加工糸)		1,966	123.9	107.0
需要計		63,120	99.7	100.0
在庫		10,767	96.2	85.7

(注)国内需要の()内数値は輸入量

II. ポリエステルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2016年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	4,727	112.0	78.9
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	33,516	96.4	95.3
	計 (輸入)	38,243 (14,463)	104.1 (115.0)	100.8 (145.3)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		2,891	94.1	91.5
需要計		41,134	103.3	100.1
在庫		21,161	104.5	90.5

(注)国内需要の()内数値は輸入量

III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2016年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	5,500	91.1	91.1
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	17,580	106.4	96.9
	計 (輸入)	23,080 (8,184)	102.3 (111.8)	95.4 (93.5)
輸出 (原糸、加工糸)		7,544	100.4	102.1
需要計		30,624	101.9	97.0
在庫		13,534	115.3	110.8

(注)国内需要の()内数値は輸入量

IV. アクリルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2016年7～9月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	5,375	103.5	78.2
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	1,724	108.0	109.9
	計 (輸入)	7,099 (248)	104.6 (104.2)	84.1 (135.5)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		23,364	86.1	75.1
需要計		30,463	89.8	77.0
在庫		12,367	118.9	115.4

(注)国内需要の()内数値は輸入量